2025（令和 7）年度 別科助産専攻 修了時アンケート結果

ＩＲ委員会
ＩＲ課

Ⅰ．別科助産専攻修了時アンケート調査の概要

１．目的

1） 学生自身が１年間の別科助産専攻における学びを振り返り、現代文化学部の教育、支援及び自己の成長について評価する。

2） 1）の結果に基づき、別科助産専攻の継続的な教育改善に役立てる。

２．実施

1） 対象：東京純心大学別科助産専攻　2025（令和 7）年度卒業生 21 名

2） 時期：2026（令和 8）年 2 月 17 日（火）

3）配付・回収方法：2026（令和 8）年 2 月 17 日の自己採点時にて、
ホワイトボードへ掲示を行い、回答。

4） 回収状況：18 名（2025（令和 7）年度卒業予定者 21 名）回収率 86%

３．質問項目

1）ＤＰ（「ディプロマ・ポリシー：修了認定・修了証書授与の方針）の自己評価について

2）別科助産専攻の教育（講義・演習・実習）改善の必要性について

3）別科助産専攻の支援について

4）学生の成長について

5）別科助産専攻の教育に対する満足度について

Ⅱ　調査結果

１．ＤＰ（ディプロマ・ポリシー：修了認定・修了証書授与に関する方針）の自己評価、および達成状況

		1 身についていない	2 あまり程度身についている	3 どちらともいえない	4 ある程度身についている	5 身についている
ＤＰ１	職業人としての倫理観と慈悲の心を身につけ、すべての人の生命の尊厳を守り，権利を擁護できる能力。	0 (0%)	0 (0%)	2 (11%)	8 (44%)	8 (44%)
ＤＰ２	助産師として必要な知識と助産診断技術、実践力を身につけ自立した助産ケアができる能力。	0 (0%)	1 (6%)	1 (6%)	12 (67%)	4 (22%)
ＤＰ３	他職種との連携・協働しながら対象者のニーズに応じた支援ができる能力。	0 (0%)	1 (6%)	2 (11%)	10 (56%)	5 (28%)
ＤＰ４	地域社会が求める助産師の役割や責務を認識し地域の母子保健の発展に貢献できる能力。	0 (0%)	0 (0%)	5 (28%)	9 (50%)	4 (22%)
ＤＰ５	助産師として自律し、自ら学び、自己研鑽、真理探究することができる能力。	0 (0%)	0 (0%)	3 (17%)	10 (56%)	5 (28%)

☞　ＤＰの資質・能力に関して、「⑤身についている」、「④ある程度身についている」と回答したものを合わせると、ＤＰ１、ＤＰ２、ＤＰ３、ＤＰ５は、80%を越える結果となった。
また、ＤＰ４は、70%以上と全体的に高い。

【参考】ディプロマ・ポリシー達成状況（自己評価）とディプロマ・ポリシーに関わる学修評価

		自己評価 Lv.0-4	学修評価 Lv.1-4
DP1	職業人としての倫理観と慈悲の心を身につけ、すべての人の生命の尊厳を守り，権利を擁護できる能力。	3.33	2.92
DP2	助産師として必要な知識と助産診断技術、実践力を身につけ自立した助産ケアができる能力。	3.06	5.33
DP3	他職種との連携・協働しながら対象者のニーズに応じた支援ができる能力。	3.61	5.45
DP4	地域社会が求める助産師の役割や責務を認識し地域の母子保健の発展に貢献できる能力。	2.94	2.97
DP5	助産師として自律し、自ら学び、自己研鑽、真理探究することができる能力。	3.11	2.95

＊自己評価は「⑤身についている」を４点、「④ある程度身についている」を３点、「③どちらともいえない」を２点、「②あまり身についていない」を１点、「①身についていない」を０点として換算
学修評価は、各ディプロマ・ポリシーを達成する必修科目の評価ＧＰの平均

２．別科助産専攻の教育（講義・演習・実習）改善の必要性について

		1 改善の必要がある	2 どちらともいえない	3 改善の必要がない
1)	１年間の講義について	7（39%）	8（44%）	3（17%）
2)	１年間の演習について	6（33%）	7（39%）	5（28%）
3)	１年間の実習について	5（28%）	7（39%）	6（33%）

〔自由記述〕

(1)４年間の講義について
【1 改善の必要がある】と回答した理由 ・授業のベースができていないもの途中で終わったままの講義があった。 ・実習で使える初期診断などを実習前に、学内で教わりたかった。 ・授業分かりにくい、実習の体制が整っていない、先生によって言っていることが違う。 【2 どちらともいえない】と回答した理由 ・婦人科系疾患の講義がもう少しほしかった。 ・混乱してしまうことがあったため。 ・分野ごとにバラバラでつながりが分からないから理解できなかったところがある。 【3 改善の必要がない】と回答した理由 ・学びの多い授業をしていただきました。

２．別科助産専攻の教育（講義・演習・実習）改善の必要性について

〔自由記述〕

(2)4 年間の演習について
【1 改善の必要がある】と回答した理由 ・手技について教員同士の意見の相違があるため。 ・演習の理解がしづらい。 ・分娩介助演習は混乱しかありませんでした。 【2 どちらともいえない】と回答した理由 ・臨床と演習で違う部分があり混乱することがあったため。 ・保健指導や分娩介助練習など、演習をしたことがとても力になりました！ ・イメージが付きづらかったけど、模型があったことで分かりやすかった。 【3 改善の必要がない】と回答した理由 ・学びの多い授業をしていただきました。

〔自由記述〕

(3)4 年間の実習について
【1 改善の必要がある】と回答した理由 ・記録物の統一がなってなくて戸惑うことが多かった。 ・前もって初期診断を教えてもらえない 【2 どちらともいえない】と回答した理由 ・記録の書き方で混乱してしまい、どう書くべきか分からなくなってしまった。 ・混乱をすることがあったが、とても充実した実習を行うことができました。 ・実習は指導者との連携が図れたことで充実した。 ・板橋では、たくさんの経験と助産師さんからの手厚いフォローを頂き、とても充実した実習であったが、他の実習施設では病院と学校側の擦り合わせが不十分だと聞いたため。 【3 改善の必要がない】と回答した理由 ・大変学び多く、有意義な実習をさせていただきました。 ・素敵な実習先で勉強になった。

☞別科助産専攻の教育（講義・演習・実習）の満足度について、「1 改善の必要がある」と回答した割合は、「講義 39%」、「演習 33%」、「実習 28%」と全体の 3 割から 4 割を占めた。

３．別科助産専攻の支援について

		1 全く充実していなかった	2 充実していなかった	3 どちらともいえない	4 充実していた	5 とても充実していた
(1)	教員によるサポート・相談について	0 (0%)	3 (17%)	4 (22%)	8 (44%)	3 (17%)
(2)	進路・就職に対するサポート・相談について	2 (11%)	0 (0%)	9 (50%)	3 (17%)	4 (22%)
(3)	国家試験に対する支援について	1 (6%)	2 (11%)	6 (33%)	6 (33%)	3 (17%)

３．別科助産専攻の支援について

〔自由記述〕（記述の後の丸数字は、回答番号）

(1) 教員によるサポート・相談について
【４充実していた】と回答した理由 ・親身に話を聞いてくれた。 ・相談しやすい雰囲気、環境があったため。 ・悩んだ時や迷った時、先生方がとても丁寧に話を聞いてくださったからです。ありがとうございました。 【５とても充実していた】と回答した理由 ・先生方が大いにサポートしてくださいました。 ・ずっと支えてくださっていました。

(2) 進路・就職に対するサポート・相談について
【４充実していた】と回答した理由 **・私は直で相談したわけではないが友達が親身になって相談してくれている姿をみた。** **・就職支援室でたくさん相談に乗っていただきました。** **【５とても充実していた】と回答した理由** **・相談しやすい雰囲気があったため。** ・不安も受け止めてくださりずっと励ましてくれました。

(3) 国家試験に対する支援について
【３どちらともいえない】と回答した理由 ・一月以降は手厚かったが、それまでは支援はほとんどなかった。 ・自習部屋を確保してくれたのは嬉しかった。 【５とても充実していた】と回答した理由 ・通学できない際のリモート授業していただけたことです。

☞「５とても充実していた」、「４充実していた」と回答した各項目では、「(1) 教員によるサポート・相談」、「国家試験に対する支援」では、50%以上であった。

「(2) 進路・就職に対するサポート・相談」39%と低い結果となった。

４．本学での学びや体験を通じた成長について

	１全く成長しなかった	２成長しなかった	３どちらともいえない	４成長した	５大いに成長した
本学での学びや体験を通じた、入学時と比べてどの程度成長したか。	1 (6%)	0 (0%)	3 (17%)	6 (33%)	8 (44%)

〔自由記述〕

【４成長した】と回答した理由
・助産の知識を増やすことができたこと、産婦さんや指導者さんなど、初対面の方とのコミュニケーションを上手く取ることができるようになったところ。
・命と向き合うことの責任感
【５大いに成長した】と回答した理由
・助産師になるための知識と技術を多く学び知識にできたことです。
・提出物を溜めないよう意識して行動できるようになった。
・時間を効率的に使える力が更に身についたと思う。
・実習を通して、臨床の助産師の働き方を間近で学ぶことができた。

☞77%の学生が「５大いに成長した」、または「４成長した」と回答している。

５．別科助産専攻の教育に対する満足度について

	１全く満足していない	２満足していない	３どちらともいえない	４満足している	５大いに満足している
現代文化学部の教育に満足しているか。	0 (0%)	4 (22%)	6 (33%)	5 (28%)	3 (17%)

〔自由記述〕

【４満足している】と回答した理由
・しっかりと１年間で助産師の資格を取ることができたため。
・東京純心大学別科助産専攻で学ぶことができてよかったと思うからです。
【５大いに満足している】と回答した理由
・沢山のことを身につけることができた。
・自分のペースで学ぶことができた
・先生方のサポートが多くあったため。

☞「⑤大いに満足している」、「④満足している」と回答したものを合わせると 45％と満足度が比較的低い結果となった。

６．東京純心大学について、改善するともっとよい大学になると思うこと

〔自由記述〕

・模試をもう少し早めに行い始めると感覚を掴めて良いと感じた。
・教育方針や、講義内容が構築されて行けばこれからどんどん良くなると思います。
・授業の一貫性があると良かったと感じています。
・先生方ならびに事務の皆さまからのサポートが大変充実しており、心より感謝申し上げます。
今後もこのような体制を継続していただけましたら幸いです。
・第一期なのでまだまだ手探りであるところが多いため、徐々に教育方法や実習について、
方向性を見つけられたらいいと思う。